

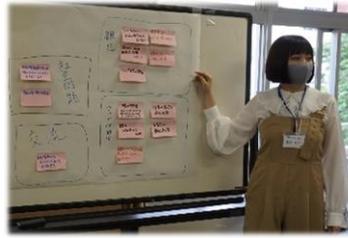
# 「若者によるまちづくり実践塾」

青葉区中央市民センター

## 1 事業概要

本事業は、若者が活動を通して、自己のものの見方や考え方を広げ、地域に対する関心を高めることができるよう支援し、将来の地域の担い手として自発的・主体的に行動できる「人づくり」をねらいとしています。

今年度は、参加者自らが訪問先を選定し、インタビューやフィールドワークを実施。活動を通して得られた情報を、若者視点から見た「青葉区の魅力」として発信していきます。



## 2 今年度の活動

今年度は、大学生12名、短大生2名、高校生1名、計15名の登録があり、毎月の定例会には10名前後が参加しています。4月に事業をスタートしましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集まることができないこともありました。その際は、オンラインも活用しながら、活動内容について話し合いを重ねてきました。8月からこれまで延べ7回のフィールドワークを実施。青葉区中央市民センター周辺や北山五山、秋には男子グループが作並方面、女子グループが青葉神社から柏木エリアに至る旧奥州街道でフィールドワークを行いました。



## 3 成果と課題

参加者同士で話し合い、取材先や訪問先を選定し、フィールドワークを行いました。取材の際は、インタビュー内容を検討したり、取材先を事前に調査したりするなど、参加者の主体性が次第に高まっていく様子が見られました。また、参加者が今まで足を運んだことがない地域を訪れることで新たな魅力に気付いたり、その地域の課題を考えたりする過程で、視野広がりを実感することができました。

参加者の振り返りには、「相手にとって分かりやすく伝えるということは、社会人になっても生きてくる力だと思う」「同年代の若者に興味を持ってもらえるようにするためには、発信の仕方を工夫することが大切」などの言葉があり、活動を通して今後の生活にも生かせるような気づきや学びを得ることができました。

今後の課題として、市民センターに足を運ぶ機会が少ない若い世代に対し、本事業への興味を示してもらうための手立てを検討していく必要があります。



## 4 今後の展望

今後もこれまで同様に、参加者である若者ならではの視点や発想を取り入れながら、地域の魅力を発信していきたいと思います。また、参加者が気づきや学びを深めることができるように、事業内容を充実させていきたいと思います。

